



留学だより Vol.10

こんにちは。ドイツのミュンヘンに留学中の松木です。最後の留学だよりを全力で書いているところです。今回は6月のドイツをお届けします。今月は留学のラストスパートで休暇もあったので書くことが盛りだくさんです。

◎誕生日

6月の初めに私の誕生日があり、楽しく17歳の誕生日を迎えることができました。誕生日の翌日にテストが2つあり、誕生日当日には何も祝わない予定だったのですが、朝起きると同時にホストマザーがケーキとプレゼントを持ってきてくれとてもうれしかったです。放課後も友達がラザニアを作ってきてくれ、みんなで小さなランチパーティーをしました。夜には、前のホストも来てくれ思い出の詰まったプレゼントをもらいました。すべてがサプライズだったので感動の連続でした。

◎シュトゥットガルト

休暇中はマザーとドイツの都市を周遊しました。最初の都市はシュトゥットガルトでした。マザーの妹が住んでおり、宿泊させてもらいました。シュトゥットガルトにはベンツとポルシェがあり、洗練されたカッコいいシェイプの車をたくさん見ることができました。また、ちょうどネーションズリーグ3位決定戦があり、残念ながらドイツは負けてしまいましたが、そちらも盛り上がっていました。

・ベンツミュージアム

ベンツミュージアムは建築がよく考えられていて、最上階に上がってからベンツの200年ほどの長い歴史を見ながら古い初期のダイムラー、メルセデスから最新のF1やスーパーカーまでの幅広い車を見て回れるようになっています。車は好きな方ですが、ここまでの長い歴史や詳細な技術などは知らなかったです。あまり車に興味がないマザーも楽しんでいました。希望者は無料の音声ガイドを使えるのも魅力的です。歴史的に重要な車や有名人の車など、見るべきものが盛沢山すぎて大量に写真を撮り、気づいたら4時間も過ぎていました。個人的なハイライトはMercedes Benz 300 SL Coupéです。銀色の車体に鮮や

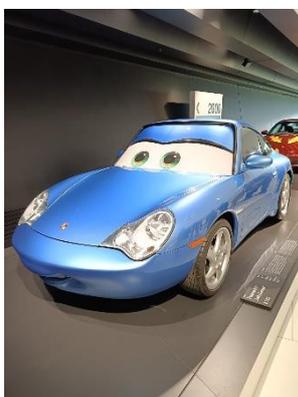
かな赤の内装、そしてガルウィングドアは高級感にあふれており、ベンツを象徴するような車です。ベンツミュージアムは車好きではない方にもおすすめです。



300SL

・ポルシェミュージアム

またまた自動車の博物館です。ポルシェはベンツに比べると歴史が浅いですが、ル・マン24時間レースなどのスポーツカーがたくさん置いてありました。ポルシェの古い車も置いてありましたが、911の展示が多くメインは比較的新しい車でした。ポルシェのヘッドライトや独特の流線形のラインは多くの人を魅了する力があり、ポルシェを目当てに訪れる観光客でいっぱいでした。ここでのお気に入りは初代Porsche911です。ポルシェで一番人気の911のオリジナルの車体はやはり美しかったです。もちろん911は美しさだけでなく強さもあります。911を作った時、フェルディナンド・ポルシェは“Der 911 ist das einzige Auto, das man von afrikanischen Safari nach Le Mans, dann ins Theater und auf die Straßen New Yorks fahren kann“(911はアフリカのサファリからルマンカップそして劇場の中、ニューヨークの道を走れる唯一の車だ)と言ったそうです。ポルシェの911への自信と誇りを感じました。



カーズのキャラ



入り口のモニュメント



ル・マン用のレーシングカー



初代の 911

◎ハイデルベルク

もう一人のマザーのシスターが住んでいるのでこちらにも宿泊させていただきました。マザー曰く、ハイデルベルクには大勢の日本人観光客がいるとのこと。実際は中国人観光客が多数でしたが、昔は多くの日本人が来ていたのかもしれない。

ハイデルベルクは伝統的な建物が多く、川の近くの小さな都市という印象でした。ハイデルベルク城はあのゲーテが作品のインスピレーションを得た場所でもあり、崩落した塔は郷愁のある雰囲気醸し出していました。また、城の地下には住民が王様に献上していたワインを入れる巨大なワイン樽がありました。街中はロマンチック街道の都市を感じさせる中世のような街並みで、ドイツ文化を感じました。

マザーの親戚はワインを生産していて、ワイン畑やワインセラーを見せてくれました。マザーの親戚は馬も飼っていて、馬術の大会にも出ているそうです。バイエルンでは見ることのない光景だったのでなかなか新鮮な体験でした。



崩落した塔



巨大なワイン樽



城と街の風景

◎ハンブルク

マザーとはいったんお別れして一人でハンブルクに向かいました。ハンブルクでは、先日来ていた日本人留学生のところに泊まりました。

ハンブルクはドイツ2位の大きさの都市で、エルベ川に接しています。港町というイメージが強く、魚を挟んだパンなどが人気の食事です。建物もレンガ造りのものが多く、同じドイツの中でもかなり文化の違いがあることに気づきました。友達とは観光するというより、街の中を歩いたり、船に乗ったり、ビーチに行ったりとゆっくりして過ごしました。ハンブルクはビートルズがライブをしていた街でもあり夜はたくさんの人であふれバーやライブ会場がたくさんありました。



ハンブルクから1時間ほどのリューベックという街にも行ってきました。



夜の街



帆船



レンガ造りの街

◎ノイシュヴァンシュタイン城

おそらくドイツで一番有名なお城であるノイシュヴァンシュタイン城にシスターと行ってきました。大学が休みに入りハンブルクにいたシスターが帰ってきていたので、なかなか行けていなかったこの城に車で連れて行ってもらいました。1800年代に建てられたので長い歴史があるとは言えませんが、その美しさからとても人気です。1800年代、バイエルン王だったルートヴィッヒ2世は人間不信になり、自分が住むためだけの孤城をバイエルンの外れに建設させました。ルートヴィッヒはゴシック様式やロマネスク様式、様々な宗教に影響を受け、またドイツにある他の城の内装を模倣するなどして芸術作品・宮殿としてこの城を作らせたそうです。寝室などは金を使った豪華な装飾にあふれており、とてもきれいでした。少し歩いたところにあるつり橋からの眺めは絶景です。緑色の森の中に唯一立つ白い城は綺麗としか言いようがありませんでした。



◎アリアンツアリーナ

友達とバイエルンの本拠地のアリアンツアリーナのツアーに行ってきました。とてもきれいでした。クラブワールドカップでも頑張してほしいです。



◎最後に

もうあっという間に留学が終わってしまいました。特に今月はやることがたくさんあり、忙しかったです。もう少し前からアクティブにいろんなところに行けばよかったなと思います。自分自身、この10か月でアクティブに、オープンになったなと思いますが、それでもこの10か月、たくさんを経験することができましたし、多くの人と会うことができました。後悔していることなんてたくさんありますが、特にこの最後の1か月は“留学は楽しいな”と思うことばかりでした。あと1年ここに残りたいぐらいの気持ちです。

「ドイツ留学」という一般的にマイナーな選択も、行く前には多少の不安がありました。今はドイツに行って本当によかったなあと感じています。ドイツはかなりおすすめです！留学はもちろん楽しいだけではないですが、多くの人に留学や異文化交流の楽しさを実感してほしいです。10か月の留学だよりで私の経験が多くの人に共有できていればうれしいです。読んでくださった皆様、ありがとうございました！留学やドイツについて質問があればいつでも聞いてください。それでは！

Servus!! 松本琉晟